



いばらきの味覚

茨城あんこう

茨城の冬の味覚を代表する魚となっている、あんこう。
「常磐もの」として市場からも高評価です。とくに「茨城あんこう」は
県内の底びき網漁師が漁獲した 2kg 以上の大ききで、
漁獲後すぐに鮮度維持の作業を施されて水揚げされたもの。丁寧な扱いが産地の冬の味覚を支えます。

主な内容

- ▼ 茨城県の建設業者表彰
- ▼ 理事会で上半期報告
- ▼ 中学生建設業体験を実施

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

優秀施工30社5人たたえる

チャレンジいばらき 茨城県第60回建設業者表彰

茨城県の「第60回～チャレンジいばらき～建設業者表彰式」が11月29日、県市町村会館で挙行されました。受賞したのは、知事表彰10社、農林水産部長表彰4社、土木部長表彰12社、企業局長表彰4社の合計30社と、知事表彰主任（監理）技術者5人、さらに今回で知事表彰10回受賞の1社です。まことにおめでとうございます。



表彰式で大井川和彦知事は、「今回の建設業者表彰は、チャレンジいばらき建設業者表彰としてリニューアルし、ICT施工や4週8休などの推進による働き方改革、職場環境の改善などにチャレンジし、成果を挙げた工事を特に評価した。今後も技術の研さんに努めるとともに、新たな取り組みにもチャレンジしていただきたい」とあいさつしました。

本会からは石津健光会長が、受賞者代表の鶴田哲男氏（株鶴田組）へ記念品を贈りました。続けて石津会長は祝辞で「建設業は地域の守り手という重要な役割を担っている。『活力があり、県民が日本一幸せな県』の実現に向けて、社会資本の整備や県民の安全・安心の確保について、しっかりと支えてまいります」と述べました。

受賞者を代表して新井土木（株）の新井紀雄代表は「今後とも技術面に一層の研さん努力を重ね、



公共事業の担い手として全ての建設工事が優秀な成績を挙げ、地域住民の福祉増進、県勢発展に寄与してまいります」と謝辞を述べました。

茨城県建設業者表彰は、県発注の建設工事を適正に施工し、優秀な成績で完成した建設業者と主任（監理）技術者をたたえるもので、今回は平成29年度に完成した知事部局2220件（土木1717件、建築269件、農業土木234件）、企業局152件のうち、成績が特に優秀な施工者が表彰されました。

新しい取り組み、高い技術が評価

より一層の研さん重ね、県勢発展に貢献



石津会長が祝辞



受賞者を代表して新井紀雄さん(新井土木(株))が謝辞を述べました



本会から受賞者に記念品を贈呈しました

第60回 茨城県建設業者表彰受賞者(敬称略)

知事表彰建設業者(10社)

建設業者名	代表者	所在地
菅原・田口建JV	下田 徳行	水戸市
大昭建設(株)	細谷 武史	龍ヶ崎市
櫻井建設工業(株)	櫻井 俊一	龍ヶ崎市
新井土木(株)	新井 紀雄	常総市
日本ファブテック(株)	小野 重記	取手市
(株)鶴田組	鶴田 哲男	那珂市
飯田建設興業(有)	飯田 良三	筑西市
常総開発工業(株)	石津 正美	神栖市
大貫・大昭JV	大貫 茂男	大洗町
(株)杉原建設	杉原 栄司	阿見町

知事表彰主任(監理)技術者(5名)

氏名	所属建設業者名
五位 潤 智	菅原・田口建JV
高橋 裕二	株木建設(株)
南 詳浩	日本ファブテック(株)
川田 智之	飯田建設興業(有)
庭田 健一	大貫・大昭JV

知事表彰10回建設業者(1社)

建設業者名	代表者	所在地
新井土木(株)	新井 紀雄	常総市

農林水産部長表彰建設業者(4社)

建設業者名	代表者	所在地
池田技建工業(株)	山口謙太郎	つくば市
(株)高野工務店	高野 潔	那珂市
(有)中村組	中村 利幸	坂東市
(株)大藤組	大藤 博文	大子町

土木部長表彰建設業者(12社)

建設業者名	代表者	所在地
共栄通信工業(株)	安部 徹	水戸市
(株)秋山工務店	秋山 光伯	日立市
(株)岡部工務店	岡部 英明	日立市
茨城県県南造園土木協業組合	外塚真由美	土浦市
石塚産業(株)	中川原 勇	下妻市
(株)梅原工務店	梅原 基弘	常陸太田市
(株)井滝建設	井滝 秀明	ひたちなか市
橋本建設(株)	橋本 直行	ひたちなか市
大内建設(株)	大内 康意	筑西市
(株)伊東建設	伊東 久夫	鉾田市
益子建設(株)	益子 玉枝	大子町
坂間工業所(株)	松本幸次郎	五霞町

企業局長表彰建設業者(4社)

建設業者名	代表者	所在地
株木・佐々木JV	株木 雅浩	水戸市
福井建設(株)	笠川 典子	石岡市
(株)柴山土建	柴山 正之	笠間市
(株)大地	菅谷 明良	鹿嶋市

理事会で上半期事業や決算を報告

新たにICT土工研修を開催

本会は11月13日、水戸市の県建設技術研修センターで理事会を開催し、平成30年度上半期事業や決算を報告したほか、1社の新規入会を決議しました。上半期には新たな試みとしてICT土工研修を開催し、技術者の育成を図りました。地域貢献活動としては、会員企業の皆さまにご協力をいただき、道の日にちなんだ道路美化活動を行いました。



石津会長

あいさつで石津健光会長は、従業員の高齢化や将来の担い手である若年者の確保、ICTを活用した生産性向上への対応、働き方改革に伴う週休2日制の導入など、建設産業は大きい課題に直面していると、「引き続き各支部のご意見をいただきながら協会運営を進めてまいりたい」と述べました。

上半期の主な事業としては、関東地方整備局との意見交換会において、公共事業予算の安定的な確保、地元建設業者の受注機会の確保、適正利潤の確保などを要望しました。

会員企業の経営改善、技術力向上に関する啓発指導事業では、例年実施している監理技術者講習会や建設業経営者研修会に加え、新たにICT土



上半期の事業などを報告しました

工研修を開催しました。さらに、登録解体工事講習会や建設業の適正取引に関する講習会も行いました。

雇用改善および人材確保・育成については、国・関連団体の助成金を活用し、会員企業の雇用改善の取り組みを支援するとともに、若年層の入職促進を図るための学生向け現場見学会や現場実習などを開催しました。

決議事項では、新規入会として金成重機建設(株)(日立市)の取り扱いを決議。最後に下半期のスケジュールを確認しました。

さらなる雇用改善へ 優秀企業や標語表彰

平成30年度「建設雇用改善推進集会」



尾曾副会長



藤井茨城労働局
職業安定部長



前田県産業
戦略部次長

本会は11月20日、建設雇用改善推進集会を水戸市の県建設技術研修センターで開催しました。会員企業など約180人が参加する中、雇用改善へ功績のあった企業や優秀標語入選者などをたたえるとともに、雇用改善へ一層尽力することを誓い合いました。

冒頭、尾曾正人副会長は「建設業界は従業員の高齢化、若手入職者の減少が進んでおり、将来的な担い手となる人材の確保・育成が喫緊の課題となっている。本会では人財開発委員会を中心に、労働環境改善や建設業界のイメージアップを図る事業を積極的に推進し、若者が希望と誇りを持ち、将来を託せる魅力ある産業となるよう努力していく」と決意を述べました。

来賓祝辞では、厚生労働省茨城労働局の藤井剛職業安定部長が「業界の関係者が雇用管理における課題を的確に把握し、共通の認識のもとで一体となった取り組みを進めていくことが重要。より



一層の雇用管理改善を推進し、魅力ある職場づくりを行ってほしい」とあいさつ。

県産業戦略部の前田了次長は「建設業は重要な産業の1つであり、皆さまの健全な発展が日本の将来の発展につながる。皆さまと歩調を合わせ、2人3脚で雇用改善の取り組みなどを進めてまいります」と話しました。

続いて、建設雇用改善優良事業所、雇用改善に関する標語入選者、建設業退職金共済制度普及協力者の各表彰を行い、受賞者をたたえました。

講話ではテレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏が「政治とメディアから読む日本」と題して講演しました。



講師の川村氏

受賞者（敬称略、順不同）

【県知事表彰】

（建設雇用改善優良事業所）
（株）羽生工務店（鉾田支部）

【県建設業協会会長表彰】

（雇用改善に関する標語入選者）

◆最優秀賞＝寺門力也（株）梅原工務店

「若手の元気 ベテランの知恵
みんなで取り組む職場の改善」

◆優秀賞＝羽生正一郎（株）小堤工業

大濱大吾（株）新みらい

◆優良賞＝飯田則子（水戸土建工業（株））

田中あゆみ（株）新みらい

武笠浩二（大坂建鋼（株））

◆佳作＝小瀧大介（株）鈴木良工務店）、菅野芳美（トキワ建設（株））、高橋栄（株）瀧工務店）、福地康裕（鈴縫工業（株））、益子栄作（鈴縫工業（株））、福田大輔（成島建設（株））、石川絵梨（株）富晃

【勤労者退職金共済機構理事長表彰】

（建設業退職金共済制度普及協力者）

水戸土建工業（株）（水戸支部）

（株）根本工務所（太田支部）

大洋中学校で建設業体験学習

ものづくりの
魅力アピール

本会などが組織するCCI茨城（茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議）は11月27日、鉾田市立大洋中学校で校倉工法木造倉庫「大洋ハウス」の引渡式を行いました。



大洋中の1年生が建設業を体験しました

建設未来協議会鹿行地区会員などの指導・

協力のもと、同校の1年生60人が10月2日に基礎工事や測量体験、10月22日に組立工事や重機操縦体験などを行い、当日の引渡式を迎えました。

引渡式では、茨城県土木部の横田喜一郎技監兼検査指導課長、本会鉾田支部の羽生義隆支部長、建設未来協議会の小林圭一会長がそれぞれ

あいさつ。また、来賓の岸田一夫鉾田市長にもお言葉をいただきました。

生徒を代表して飯岡由希子さんは「私達のために校倉木造倉庫を作っていただきありがとうございました。自分達の手で作ったからこそより大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

ICT施工の普及へ意見交換

茨城県i-Construction推進連絡会

本会および国、県で構成する茨城県i-Construction推進連絡会は12月6日、3回目となる会合を石岡市民会館で開催しました。各機関が行っているICT施工の取り組みについて発表し、意見を交換しました。



同連絡会は、地域建設企業の意見などを把握し、ICT活用施工の円滑な普及を図ることを目的として、平成29年3月に設立されました。

会合の前には、常陸河川国道事務所発注の「H30年常陸管内バイパス改良他工事」について、受注者の昭和建設株（水戸市）から工事概要などの説明を受けました。

担当者はICTを導入したメリットとして▼丁張設置が不要で、均一な施工で仕上げるができる▼手元作業員の配置が不要となり、重機との接触事故などのリスクを大幅に軽減できる▼品質の向上を図れる▼若者などへ建設業の魅力度アップにつながる—などを挙げていました。

上半期の取組や就職状況を共有 魅力ある職場推進委と建設労働者確保推進委



魅力ある職場づくりに向けて話し合いました

本会が主催する「若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会」と「建設労働者確保育成事業推進委員会」が11月13日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれ、上半期の取組みや県下8支部12事業所で実施した雇用改善パトロール、高校生などを対象とした建設現場見学会や現場

実習、普通科高校インターンシップの実施状況、雇用管理改善促進事業の取組みなどについて話し合いが行われました。

4月に水戸市と土浦市の2会場で実施した建設業合同企業説明会については、延べ44社が参加し、専門学生や大学生など96人が来場。今後は他県の例を参考に、高校生も対象に含めたものにしていく方針が示されました。

その後、各高校が就職状況を報告。水戸農業高校では14人が建設業への就職が内定または決定。水戸工業高校では、土木科39人のうち約7割が就職で、そのうち約9割が建設系。求人が多く、おおむね希望する企業へ就職できているとのこと。

型枠講習会を開催

担い手ネットワーク協議会



県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会は11月6・7日、富士教育訓練センター、県型枠事業協同組合、(株)大平組の協力を得て、型枠技能者講習会を実施しました。

同協議会は、本会や県建設産業団体連合会、茨城労働局、県などで構成。若年者の入職促進や技能者・技術者の育成に向けた取組みを行っています。

小中学生が建設現場描く

県庁2階に展示しました



本会は、小中学生が建設現場の風景を描いた図画作品を募集し、優秀作品を表彰しています。11月26日から12月10日まで茨城県庁2階に展示し、連日多くの方が訪れました。

作品は夏休み期間中に描かれたもので、小学校61校から559点、中学校17校から134点の応募がありました。

平成31年2月1日から フルハーネスが原則に

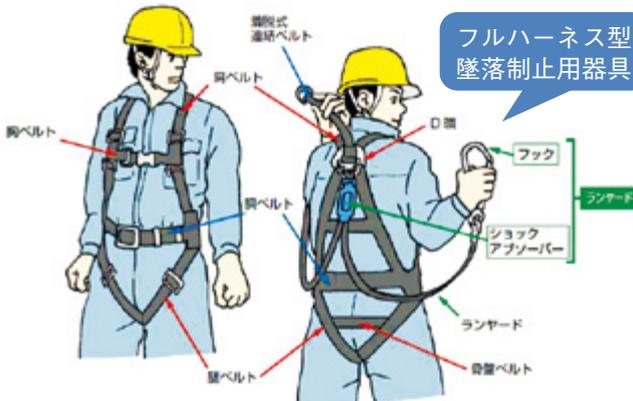
厚生労働省は、建設業等の高所作業において使用される「安全帯」について政令等の改正を行い、安全使用のためのガイドラインを策定しました。改正等のポイントは以下の通りです。

1. 安全帯を「墜落制止用器具」に変更します

	安全帯	→	墜落制止用器具
①	胴ベルト型（一本つり）	○→	胴ベルト型（一本つり）
②	胴ベルト型（U字つり）	×→	×
③	ハーネス型（一本つり）	○→	ハーネス型（一本つり）

②には墜落を制止する機能がないことから、改正後は①と③のみが「墜落制止用器具」として認められることとなります。

2. 墜落制止用器具は「フルハーネス型」を使用することが原則となります



3. 「安全衛生特別教育」が必要です

※詳細については茨城労働局または各労働基準監督署にお問い合わせください。

会員の動向

<代表者変更>

- ▽筑西支部
 (株)伊坂土建工業 伊坂 成二 → 伊坂 小百合
- ▽境支部
 加藤建設工業(株) 加藤 順憲 → 加藤 裕司
- ▽常総支部
 (株)クシタ建設 串田 よしの → 串田 一仁
- ▽常総支部
 (株)根本工業 根本 昂一 → 根本 忠志

建設キャリアアップシステム 申請受付窓口を設置

平成31年4月
月から「建設
キャリアアッ
プシステム」が
本格的に運用



開始となるのに伴い、本会では同年1月7日から申請受付窓口を設置します。申請書類は本部業務課および各支部で配布します。奮ってお申し込みください。問い合わせは業務課まで。

◆建設キャリアアップシステムとは

技能者一人一人の就業実績や資格を登録し、技能の公正な評価、工事の品質向上、現場の効率化などにつなげるシステム。技能者にはICカードが発行され、簡単に就業履歴の蓄積や資格証明ができるようになる。事業者は技能者の就業状況の把握や現場の入場管理などが容易になる。

新春賀詞交歓会のご案内

日時 平成31年1月11日(金) 午前11時開会
 場所 水戸京成ホテル2階 「瑠璃の間」
 (水戸市三の丸1-4-73 TEL029-226-3111)
 主催 (一社)茨城県建設業協会
 (一財)茨城県建設技術管理センター
 茨城県建設業協同組合

ちよつと一言



JAFが本年8月～9月にかけて全国の「信号機のない横断歩道」における歩行者優先について実態調査を行った結果、歩行者が渡ろうとしている場面で9割以上の車が一時停止しないという結果になりました。交通ルールにおいては「横断歩道における歩行者優先」が定められています。年末年始にかけて、気忙しい時期となりますが、時間と心に余裕をもって、歩行者にも優しい安全運転を心掛けたいと思います。(K)

<訂正・おわび>

11月号8ページ目の会員の動向の案内で、社名を(株)野内に訂正し、おわびいたします。